

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮市上大市一丁目計画	階数	地上6F
建設地	兵庫県西宮市上大市一丁目111番1	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、近隣商	平均居住人員	616 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2024年2月1日
敷地面積	7,606 m <sup>2</sup>	作成者	不二建設(株)青山貴宥
建築面積	3,568 m <sup>2</sup>	確認日	2024年2月1日
延床面積	14,681 m <sup>2</sup>	確認者	不二建設(株)西村謙司



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

① 参照値 100%  
② 建築物の取組み 72%  
③ 上記+②以外の 72%  
④ 上記+ 72%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	ZEH-M Readyを目指し、高効率設備や高性能断熱材を採用することで省エネルギー化を図り、環境にも居住者の快適性にも配慮した。HEMS等の導入も行い、エネルギーの見える化を行った。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆の内装建材を使用し、室内空気環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 良好なまちなみを創出するために植栽を計画し、周囲に調和するデザインを心掛けた。また、災害時に3日分のライフラインを確保するよう計画した。
LR1 エネルギー	LED照明設備などの高効率設備、エネファーム、高性能断熱材を採用することで省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> の排出率を抑制し、地球温暖化に配慮した。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管を採用して、更新必要間隔を長くするように努めた。	
LR2 資源・マテリアル	木軸により、躯体と仕上材が容易に分別できるなどの部材の再利用に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される